

調 査 研 究 活 動 実 績

氏 名 弘 田 兼 一

本年度（30年度）の政務調査研究に関する主な活動の実施状況は次のとおりであります。

- ① 高知県内の道路などインフラ整備の状況について現場視察し、状況調査を行った。室戸事務所の事業実施状況を調査、8の字ルート（高規格道路）の整備やミッシングリンク対策についての調査・研究及び関係機関に対して要望活動を行った。
- ② 高知県内外の観光振興に対する取り組み、スポーツキャンプ誘致等による交流人口拡大の取り組み、地域連携による誘客の取り組み及びインバウンド対策についての調査・研究を行った。
- ③ 南海大地震に対する高知県内外の防災・減災についての取り組み状況について現場視察、各市町村の取り組みについて調査・研究を行った。
- ④ 再生可能エネルギーの現状及び木質バイオマス発電について高知県内外の状況について調査・研究を行った。
東部地域への木質バイオマス発電施設の導入について研究を行った。
- ⑤ 県下の産業振興の取り組みについて現場視察、各市町村の取り組み状況、個人企業の取り組み、各種団体の取り組みの調査・研究や土佐備長炭など地域にある資源を活用した産業振興の研究を行った。
- ⑥ 県下の中山間地域の住民に直接話を聞き、各地の農林水産業など中山間対策、鳥獣被害対策についての取り組みの調査・研究や定置網漁業を活用した地域振興について調査・研究を行った。

- ⑦ 高知県内の健康福祉政策の実施状況について調査・研究を行った。
東部地域の医療施設や医療提供状況について調査・研究を行った。
東部地域の地域医療の確保について室戸市議会産業厚生委員会とともに、
医師及び看護師不足対策の研究・調査活動を行った。
- ⑧ 過疎地における教育行政のあり方及び学校におけるクラブ活動のあり方について調査・研究を行った。